

第3回 松本市議会 ステップアップ市民会議

～若者の政治（市政・地方自治）への関心を高めるために～

平成28年5月31日

松本市議会

第3回松本市議会ステップアップ市民会議 次第

日 時：平成28年5月31日（火）
午後1時30分

場 所：第1委員会室

- 1 開 会
- 2 副議長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 意見交換
- 5 閉 会

松本市議会ステップアップ市民会議 委員名簿

(五十音順・敬称略)

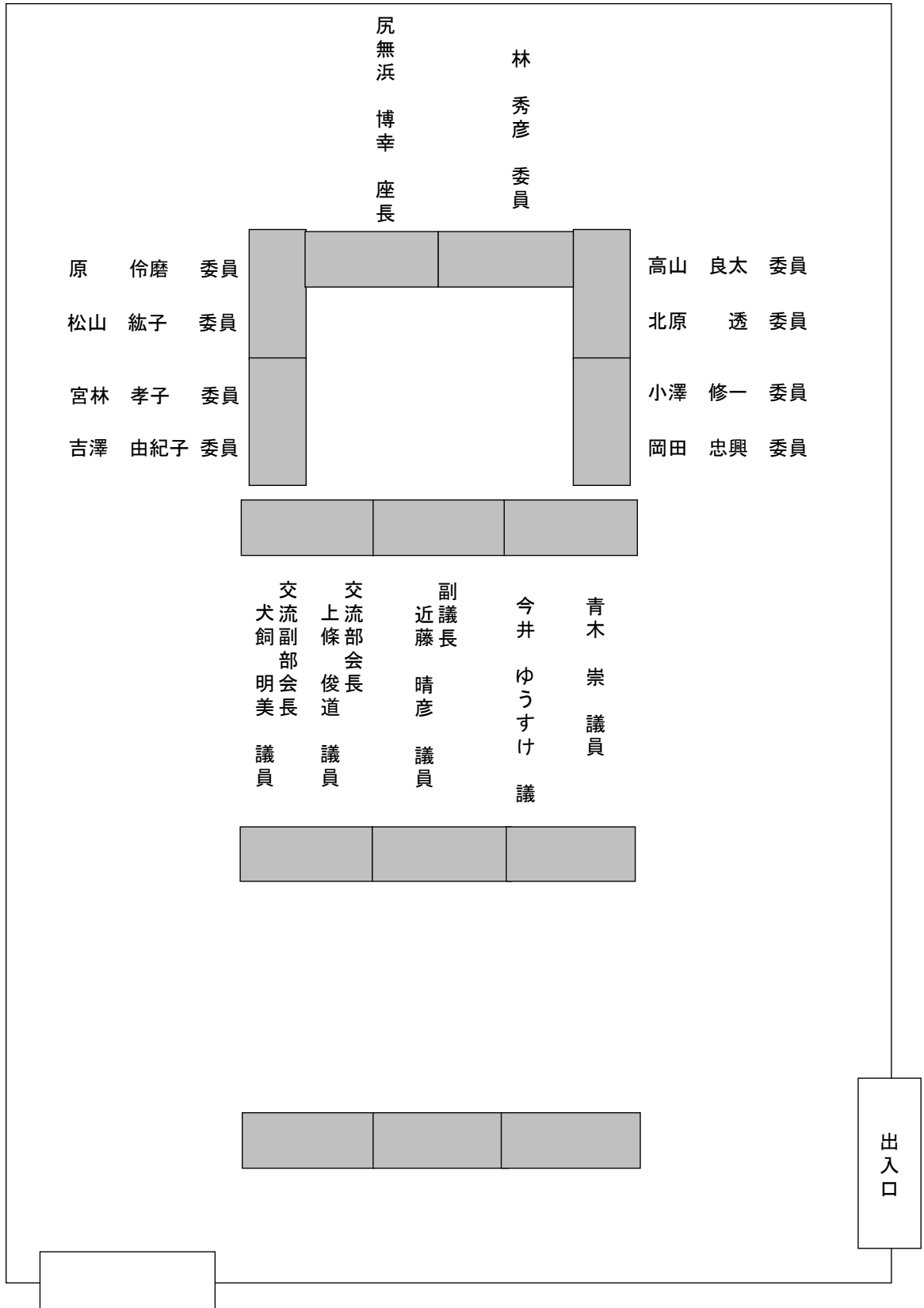
職 名	氏 名	備 考
委 員	お ^{おか} 岡 ^だ 田 ^{ただ} 忠 ^{おき} 興	公募委員
委 員	お ^お 小 ^{ざわ} 澤 ^{しゅう} 修 ^{いち} 一	株式会社松本山雅
委 員	き ^{きた} 北 ^{はら} 原 ^{とおる} 透	松本市青少年補導委員協議会
座 長	し ^{しり} 尻 ^{なし} 無 ^{はま} 浜 ^{ひろ} 博 ^{ゆき} 幸	松本大学
委 員	た ^{たか} 高 ^{やま} 山 ^{りょう} 良 ^た 太	公募委員
委 員	は ^{はやし} 林 ^{ひで} 秀 ^{ひこ} 彦	公募委員
委 員	は ^{はら} 原 ^{りょう} 侖 ^ま 磨	公募委員
委 員	まつ ^{まつ} 松 ^{やま} 山 ^{ひろ} 紘 ^こ 子	公募委員
委 員	みや ^{みや} 宮 ^{ぼやし} 林 ^{たか} 孝 ^こ 子	松本市子ども会育成連合会
委 員	よし ^{よし} 吉 ^{ざわ} 澤 ^{ゆき} 由 ^{きこ} 紀子	松本市PTA連合会

第3回 出席議員名簿

職 名	氏 名	備 考
副 議 長	こん ^{こん} 近 ^{どう} 藤 ^{はる} 晴 ^{ひこ} 彦	
交流部会長	かみ ^{かみ} 上 ^{じょう} 條 ^{とし} 俊 ^{みち} 道	
交流副部会長	いぬ ^{いぬ} 犬 ^{かい} 飼 ^{あけ} 明 ^み 美	
議 員	いま ^{いま} 今 ^い 井 ^{ゆうすけ} ゆうすけ	20代議員
議 員	あお ^{あお} 青 ^き 木 ^{たかし} 崇	20代議員

第3回松本市議会ステップアップ市民会議 席図

日時：平成28年5月31日（火）
午後1時30分
場所：第1委員会室



ステップアップ市民会議で出された意見・取組み

1 本質的な意見、取組み

- (1) 選挙に行ってもだれを選べばいいのかわからない
- (2) 高校生に、具体的な市政課題についてどう思っているのか聞いてみる

2 きっかけや入口になるような取組み

- (1) 松本山雅FCのホームゲームで、来場者へチラシ等を配布
- (2) 高校生議会、模擬投票、模擬請願
- (3) 市の具体的な取り組みについて、高校生に案を募集する
(アルプちゃんの活用方法、事業等のネーミングを募集 等)
- (4) 選挙へ行った人への割引や特典制度を設ける
- (5) 保育園の入園式等を利用したPR
- (6) 子供たちと話し合いの場をもつ
- (7) 松本市子供会育成連合会シニアリーダーの活用
- (8) 投票所の立会人に若者を入れるというルールを設ける
- (9) 大人も子供も目にするような新聞紙面等に、議会の取組み等を定期的に掲載

《取組事例》

1 選挙管理委員会の取組み

(1) 松本市選挙管理委員会

ア 期日前投票所の投票立会人に20～30代の若者を登用。今夏の参議院議員通常選挙からは高校生の投票立会人を公募。

イ 初めての投票機会となる新有権者に投票を呼び掛けるポストカードを郵送。投票所入場券が自宅に届いてから投票日までのスケジュールを紹介。

ウ 平成28年4月から公式ツイッターによる18歳選挙権についての情報発信を開始したほか、広報まつもと5月号に18歳選挙権に関する特集ページを掲載。また、大町市、安曇野市、塩尻市と連携し、市内の高等学校の全学年生徒に啓発チラシ等を配付する予定。

エ 松本市教育委員会と主権者教育の充実や選挙啓発の実施に向けて意見交換を実施（平成27年9月）。連携して取り組む具体的な内容を引き続き検討。

オ 市内の高等学校で県選挙管理委員会の選挙出前授業が実施される際に、投票物品の貸し出しや投票事務の手順指導等に協力。平成28年4月には、市選挙管理委員会として独自に梓川高校で実施された模擬投票に協力。

(2) 長野県選挙管理委員会

ア 県内の高等学校及び特別支援学校高等部を対象に、選挙の仕組み等の説明や選挙啓発を行う「選挙出前授業」及び「模擬投票」を実施（平成27年5月から）。

イ 長野県教育委員会と主権者教育の推進に向けて協力、連携するための協定を締結（平成27年6月）。

2 他の自治体の取組み

(1) 模擬議会

ア 子ども議会（茨城県大子町）

町内11小中学校の生徒代表22人が議員を務める。町が予算化した「学校活性化事業交付金」（40万円）について、学校ごとに交付金を使った事業を考え、各校代表の子ども議員が発表し、実際の交付金の配分を採決する。

イ 少年町長・少年議会（山形県遊佐町）

町内在住・在学の中学生・高校生の中から直接選挙によって少年町長・少年議員を選出。独自の政策予算（45万円）の用途について、少年議会から提言を行い、町の政策に反映させる。

ウ 高校生議会（山形県小国町）

県立小国高校の生徒会役員が「執行部」役となり、生徒会長が町長として所信表明演説を行った後、現職の議員が普段の議会と同様に町政一般について、「執行部」役の生徒に対して一般質問を行う。

(2) 地域社会への参加

ア こうちこどもファンド（高知県高知市）

18歳以下の子どもたちが自ら行うまちづくり活動への支援制度としてファンドを創設。活動主体を子どもたちとするだけでなく、その活動に対する審査においても子どもを起用し、子どもの目線によるまちづくり活動を支援。

イ 若者議会（愛知県新城市）

概ね16歳から29歳までの市内在住・在学・在勤者から議員を公募。若者を取りまく様々な問題を考え、話し合うとともに、若者の力を活かすまちづくり政策を具体的に検討し、市長に答申する。

ウ 地域課題解決型キャリア教育支援事業（岐阜県可児市）

県立可児高校が指定を受けているキャリア教育を市議会がサポート。

さまざまな地域課題に取り組んでいる大人たちと生徒がかかわれる場として議会主催の「地域課題懇談会」を開催し、そこで地域課題に触れた生徒が、自ら解決策を考え、最終的に「高校生議会」で活動報告と意見交換を行う。

エ 「ティーチイン岡山」（岡山県岡山市）

大学生と市民が地域社会のさまざまな課題について、対等な立場で自由に語り合い、意見交換する場として、岡山大学教育学部の社会科教育講座が中心となって運営。平成25年には、主権者教育の実践の場として、地域課題の解決と将来のまちづくりについて考え、参院選の候補者に対して「逆マニフェスト」を提案するワークショップを開催。

(3) 議会、議員との対話

ア 18歳の選択「やお未来議会2016」（大阪府八尾市）

市内の高校生・大学生を対象に、選挙制度についての授業や模擬投票を通じて選挙に対する理解を深めてもらうとともに、市政に関する提言の発表や市議会議員との対話を通じて議会制民主主義を体験してもらう。

イ 「議会フォーラム」（北海道登別市）

市民との意見交換・議会報告会として毎年実施している「議会フォーラム」において、平成27年度は市内の高校生・専門学校生を対象に実施。選挙権年齢の引き下げや若者の政治参加をテーマに、基調講演及び議員とグループワーク形式での意見交換を行い、その結果を発表。

ウ 大学生を対象とした議会報告会（新潟県新潟市）

年に2回実施している議会報告会のうち、1回を市内の大学生を対象としたグループワーク形式の議会報告会として実施。今後のまちづくりに対する複数の課題からグループごとにテーマを選択し、大学生と議員が議論を行う。